

自己評価結果公表シート（平成30年度）

学校法人育保学園 バンビーニくまのだ

1. 本園の教育・保育理念

「一人ひとり」の個性が輝く毎日を送る事ができるような環境を整え、様々な経験と遊びを通じて健全な心身の発達を助長し、情操豊かな子どもの育成を目指す。

2. 本園の教育・保育のねらい

- ・自ら考え、行動する力を育てる。
- ・人を思いやる気持ちを育てる。
- ・集団生活を通して、規範意識を持つ力を育てる。
- ・新しいものを生みだそうとする力を育てる。

3. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・保育の質の向上と保育者の資質の向上
- ・保育環境の見直し
- ・地域との交流を図る

4. 評価項目の達成及び、取り組み状況

評価項目	取り組み状況・結果
○保育の質の向上と保育者の資質の向上 ・職員間で意見を出し、話し合えるよう工夫する ・職員研修の充実を図る ・自己評価に基づく課題を踏まえ、職員それぞれの専門性を高める	・事前に少人数で話し合った内容を持ち寄り、毎月の職員会議の中で園全体でも振り返りを行う事で、いろいろな職員の意見に耳を傾け、次の課題を見つける事ができた。 ・各自、研修ハンドブックへの研修内容の記録や全職員の外部研修内容を一目見てわかるよう表に記載する事でいろいろな分野の研修に目を向けるきっかけになった。 ・各学期毎に自己評価チェック表に沿って、反省や振り返りを行うと共に、個々に短期の具体的な目標を決める事で日々意識して取り組む事ができた。
○保育環境の見直し ・園内外の自然に触れる機会を持ち、季節の変化を感じられるようにする。	・一年を通して季節の花、野菜等の栽培をする事で身近な植物の生長に興味を持ち、収穫の喜びを感じたりする事ができたが、各クラスで身近な生き物を飼育する機会が少なかった。 ・前年度、天候により園外保育の日数が少なくなるという事があった為、予め日程を多めに設定する事で回数を増やす事ができ、継続して季節毎の変化等にも目を向け、楽しむ事ができた。又、回数が増えた事で歩く機会が増え、体力向上にも繋がった。
○地域との交流を図る ・保育の専門性を活かした子育て支援を積極的に行う	・地域の子育て中の親子が、孤立しないように定期的にお遊び会を実施し、子育て相談等も行っている。30年度、年間の回数を増やした事で継続して参加される方が増え、参加人数の増加にも繋がった。 ・園外保育の回数を増やした事、新たに範囲を広げ遊び場を増やした事で、公園での未就園の親子とのかかわり、地域の方との触れ合いの機会が増えた。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
・保育の質の向上 ・保育環境の充実	・各クラスでの保育内容、保育に対する思いを伝え合う機会を設ける事で、全職員が共通理解を持って子ども達に関われるようにする。 ・積極的に研修に参加できるように年間での研修計画を立て、計画的に参加する。 ・子ども達の遊びの様子を全職員で共有し、日々の子どもの姿に応じた環境を整えられるようにする。 ・身近な生き物を飼育し、直接触れる機会を通して、生命に目を向ける機会を作る。